

第30回

北海道の真ん中 自然あふれる町の 美しい湖

もう16、17年くらい前になるが、娘が小学生の頃に南富良野のどどころ野外学校の犬ぞりキャンプに、何度か参加したことがあった。小さい頃から動物が好きだったので、小さいうちに経験できたらいいなあと、度々参加していた野外教室のプログラムに犬ぞりキャンプがあったので、勧めてみたら案の定「行きたい」と言って出かけていった。それ以来、南富良野町には勝手に親近感を感じていたけど、自分自身が南富良野町のかなやま湖に行ったのはいつだっただろう。もしかしたら10年以上前だったかもしれない。

その間、6年前には台風10号が北海道に大きな被害をもたらし、南富良野町も大変な被害を受けた。近年、台風が温帯低気圧にならず、北海道に上陸することが多い。その度に台風10号を思い出し、何事もないように早く北海道を通り過ぎてほしいと祈るばかりだ。台風の後、南富良野町のシンボルにもなっている幻の魚「イトウ」も激減したそうだ。かなやま湖の上流域などに保護区を作りながら、少しずつ元の数に戻ってきているらしい。自然災害は人の生活だけでなく、そこにある自然体系も崩してしまうのだ。それでも人の努力や自然の回復力のおかげで、今もかなやま湖や山や森の自然を思う存分楽しめる環境がある。

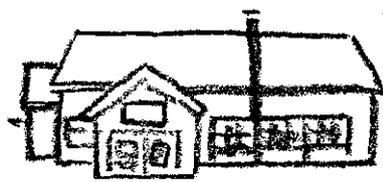
都市に住む人もみんな実は自然と隣り合わせで生きている。そのことをうっかり忘れがちだけど、やはり忘れてはいけないことだと思う。人も自然の一部だから。ここまで書いたらジブリ映画の「もののけ姫」を思い出してしまった。偉大なる自然の神は滅ぼしもするが再生もする。やっぱり自然は偉大だなあと、四季折々のかなやま湖の美しい写真を前に、深く思う。



すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」(アリス館)「おいしい大地、北海道」(イースト・プレス)がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？ くだもの」(アリス館)がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにここと」。



映画「ほっほや」のロケ地
 になったJR 越前駅！
 撮影に使われた台本や
 小道具、写真パネルなどが
 駅舎に展示されています*

かみやま湖や空知川などで
 アウトドアを楽しもう！
 カヌーやラフティングの
 ツアーやキャンプなど
 いろいろなお楽しみが
 あるよ* 観光協会のHPを
 みてみてね！



道産小麦と天然酵母
 で焼くヘルキルヤ
 ハロンのお店
 JR 落合駅のそば*

春だ!!



どんどんお出かけ
 しよう！